



The
FKC FURANO KOTOBUKI COLLEGE
Times

富良野市教育委員会教育振興課社会教育係

電話 0167-39-2318

文責：上用 眞一郎



今日は楽しい! クリスマスライブ!

令和5年も残り少なくなりました。12月18日の朝はまとまった雪がたっぷりと降り積もりました。きっとスキー場もほっと一息、これから楽しい楽しい雪かきの季節になりました。どうぞ無理をしないで下さい。

週末はクリスマス、そして本日20日は「お楽しみクリスマスコンサート」です。

令和5年の今年はことぶき大学51年目の新しい年として幕を開け、4年ぶりの「主張・研究・実践発表会」が終了、「演劇祭」にも出場することができました。

あらためて皆さん方の頑張りに敬意を表します。皆さんの担任教師が通知表をつけるとすれば“◎よく頑張りました”



今日のコンサートのプログラムを作成しました。

ことぶき大学専任音楽講師でもある鶴飼さん、藤野係長、そして片平さんと私が皆さんに感謝を込めて計画したコンサートです。是非、お楽しみください。そして、新しい年も一緒に頑張りましょう。



歴史と文化を学ぶ ～富良野人として～

12月6日（水）生涯学習センター学芸員の泉さんを講師に講座を開催しました。

私たちが住んでいるこの豊かな富良野盆地、かつては泥炭層の湿地帯でした。排水をして、乾燥させ、そして用水をひく工事…もう奇跡的な事業ということです。そしてその開拓前の湿地帯そのものが鳥沼公園として、歴史の文化財として残されているのですから驚きです。

富良野の開拓のはじまりが1897年、そして1917年排水溝工事、1921年用水路工事が始まりました。僅か100年前のことです。この富良野の貴重な歴史と文化を私たちが今後どう自然を守り大切にしつつ維持、管理していくのか！実に大きな課題があることをこの講座で学びました。

泉さん、この度は大変ありがとうございました。これからのことぶき大学の講師としてご指導していただけると大変うれしいです。

この講座の資料を見ますと、「富良野市の歴史と自然遺産にご協力ください」という記事がありました。

4年ほど前になりますが、麓郷の千葉さん、（在籍していれば大学院1年生





富良野市の歴史と自然 遺産調査にご協力ください

旧麓郷第二発電所の情報を集めています

令和4年度の調査報告と情報提供のお願い

今後、博物館企画展示で公開する予定です。また、富良野地方の石工職人と神社の狛犬調査も実施しま

）に案内されて、麓郷をぐるっと一通り巡ったことがありました。

その時、現在ある麓郷神社が白鳥山の頂上にあつたというので登り確認した時、麓郷には水力発電所があったことを知りました。その建物の一部が北側に見えました。電気や水、木材を運ぶ鉄道、東大演習林、岩屋と麓郷街道…私が今住んでいる麓郷が「独立したまちづくり」をしていた歴史の一部を知りました。来年は麓郷に詳しいお隣さんと一緒に麓郷を一周しながら麓郷の歴史についてお聞きしたいと思っています…富良野人として…

本日、12月20日（水）お楽しみクリスマスコンサート

《 後期学生自治会費納入日 》

今日は「年末お楽しみクリスマスコンサート」です。

私たち職員が心を込めて皆さんに贈ります。楽しんでください。

9時30分 集合 サンエーホール 朝の集い（東山発8時45分）

9時40分 朝の集い

10時00分 お楽しみクリスマスコンサート開幕

11時40分 諸連絡

12時00分 終了（東山行）



次回、二校合同 新春の集い・新春お楽しみ会

◎ 令和6年1月10日（水曜日） 富良野校自治会役員集合（会長・副会長・総務部長 書記・会計）…新年お楽しみ会の事前準備

◎ 令和6年1月17日（水曜日） 会場：複合庁舎会議室 ABC

◎ 日程 …詳細について次ページに掲載しています。

・ 9時00分 自治会役員集合 諸準備

・ 9時30分 学生集合（バス着）

・ 9時40分 朝の集い

・ 10時00分 「新春の集い」

学長講話

・ 10時30分 「新春お楽しみ会」

市長挨拶 ビデオ視聴（主張・研究・実践発表）ビンゴゲーム大会

昼食会

・ 12時00分 終了（バス発）



お楽しみ会までお待ちしております

令和5年度 富良野市こぶき大学

学生自治会主催 新年お楽しみ会

総合司会 富良野校自治会副会長 原 あけみ

- 1 開会あいさつ 富良野校自治会長 伊藤 公 雅
- 2 ご来賓挨拶 富良野市長 北 猛 俊 様
- 3 全員合唱 一月一日(いちがついちじつ) 歌詞・裏面に記載
- 4 乾 杯 ことぶき大学学長 近 内 栄 一 様
- 5 ビデオ視聴 令和5年度主張・研究・実践発表交流会
- 6 余 興 余 興 司 会 …富良野校自治会総務
ビンゴゲーム大会…同校自治会役員
屋敷会
- 7 閉会あいさつ 山部校自治会長 刑 部 颯

今年も健康で一年を過ごせますように！

日 時：令和6年1月17日(水)10:30~12:00

会 場：富良野市複合庁舎会議室AB

- * ごみはお持ち帰りください
- * 後片付けにご協力ください

座席表

山部4	山部5	市 長	会 長	第2研	第2研
山部6	山部7	学 長	会 長	第2研	第2研
山部8	山部9	副学長	副会長	第2研	第2研
山部10	山部11	校 長	副会長	第2研	第2研
山部12	山部13	校 長	副会長	第2研	第2研
山部14	山部15	係 長	第2研	第2研	第2研

本科1	本科1	本科3	本科3	第2研	第2研
本科1	本科1	本科3	大院1	研究生	大院2
本科1	本科1	本科1	大院1	大院2	大院2
本科1	本科1	本科2	本科2	大院2	大院2
事務局		本科2	本科2	本科2	本科2
事務局		本科2	本科2	本科2	本科2

一月一日(いちがついちじつ)

作詞 千家尊播
作曲 上 真行

一
年の始めの 例とて
鮮なき世の めでたさを
松竹たてて 門ごとに
祝う今日こそ 楽しけれ



二
初日のひかり さしいで
四方に輝く 今朝のそら
霜がみかげに 比べつつ
仰ぎ見るこそ 尊とけれ



山部校の皆さんお手伝いに！

～山部地区子ども会のスポーツ&クリスマス交流会～

12月9日(土) 山部地区子ども会のスポーツ&クリスマス交流会に山部校の学生有志がモルックのお手伝いに参加しました。

山部校ではモルックを2年前に揃え、練習を積んでいます。今年の二校スポーツ交流会の際でもルールや競技方法など教えていただきましたが、ボランティア活動として地域の子ども会活動の応援とお手伝いと積極的に活動されました。お疲れさまでした。来年度は富良野スポーツセンターが耐震工事のため、使用できませんので、二校スポーツ交流会の種目や会場についてなど、今後、山部校と検討していきます。





ティータイムコーナー！

札幌市西区の住宅で、小さく生まれた乳児にリハビリを行う青木さん



「こどもの得意なことをみつけるお手伝いをしたい」と話す青木さん

11月30日の道新のくらしの欄に、＜願いはここに＞遊びを通し「やりたい」引き出す子ども専門の作業療法士・青木美紀さん(51)＝札幌市中央区 の記事が掲載されていました。

勿論、読んだと思いますが、あらためて今年ラストのティータイムコーナーは青木さんのこの美しい笑顔で締めくりたいと思います。

「気をつけび。今から、柚葉(ゆずは)ちゃんのお遊びを始めます」11月初旬、

札幌市西区の集合住宅の一室。小児専門の作業療法士、青木美紀さん(51)が生後11カ月の乳児に笑顔で話しかけた。

■可能性探る

女の子は、わずか395グラムで生まれ、新生児集中治療室(NICU)に半年ほど入院していた。首が据わらない、寝返りができないなど発達がゆっくりで、隔週で青木さんが訪問リハビリテーションを行う。

この日は、ブランケットに乗せてゆらゆらと揺らし、体の姿勢を保つ訓練をしたり、手足の指を1本ずつ丁寧になで、全身に触れる「タッチケア」を施したりした。また、口の感覚が過敏で離乳食を嫌がるという悩みに応じ、音楽に合わせて口の周りを指で優しくなぞり、スプーンを口に運ぶ様子を見せた。

青木さんは「楽しい時間を提供しながら、子どもたちのできることを増やし、可能性を見つけていきたい」と話す。

フリーランスの小児専門の作業療法士として、脳性まひによる身体機能障害や、ダウン症、発達障害のある子などの自宅を定期的に訪ね、心と体の成長を支援している。現在は乳幼児を中心に、札幌や石狩の0歳から22歳までの23人を担当する。大切にしているのは、遊びを通して、子どもたちの「やりたい」という気持ちを引き出すことだ。

例えば、筋肉の強張りがあり、学校で雑巾を絞れないと困っているなら、グレイ(粘土)を泥遊びのように手につけて緊張を和らげる、ぬらした雑巾を絞って自家用車を一緒にふく、といった工夫をする。「単に動作を練習するより、気持ちが入ると効果が違う」と強調する。

■まず知って

天職に出合うまでは長い道のりだった。青木さんは28歳の時に、1歳半の長男を連れて離婚した。母子生活支援施設に住み、コールセンターなど複数の仕事をかけもちして生計を立てていた。

ある日、長男に与えたマザー・テレサの伝記漫画をふと手に取った。心ひかれて、さらに関連書を読み、彼女の説く「無償の愛」に衝撃を受けた。

がむしゃらに子育てする日々の中で、誰かに必要とされたい、愛されたいと感じていた。37歳の年末、貯金をはたいてインドへ飛んだ。マザー・テレサが設立した、貧しい病気の人たちの最期をみとる施設「死を待つ人々の家」で長男と共に1週間を過ごした。

(略)「知ることは小さな支援の始まり。障害を知らない子どもたちとその家族に、さまざまな個性を持つ子どもたちがいると知ってもらいたい」との思いで続ける。

発達に特性のある子どもの通所施設にも支援に入る。忙しい日々だが、子どもたちの笑顔が原動力だ。

■障害問わず

11月初旬、札幌市北区の放課後等デイサービス「天使のわビジョン」。青木さんが宙に投げたフラフープを、小学3年生の女の子(8)が小走りで頭からくぐる。青木さんが「上手！」と褒めると、女の子の笑顔がはじけた。視覚機能を高める「ビジョントレーニング」の一環だ。

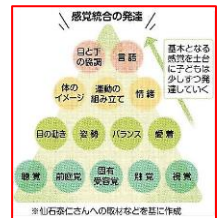
女の子は板書を書き写すのが苦手で、昨年5月から登校を渋るようになった。今年6月からデイサービスに週1度通い、青木さんと一緒に過ごす……今後、青木さんは障害の有無にかかわらず参加できるインクルーシブ(包摂的)な親子イベントの開催にも力を入れていきたい考え。今月、運営を手伝った親子イベントでは、障害のある子もない子も、一人一人が自分のできるやり方で、大縄跳びや手話のダンスを楽しむ姿が見られた。

「言葉が話せない子も、さまざまな合図を出して私たちに語りかけている。日々、学んでいます」……

■感覚整理 情緒安定へ

青木美紀さんは子どもたちとの関わりに「感覚統合療法」を積極的に取り入れている。感覚統合療法は、米国の作業療法士ジーン・エアーズが考案した、学習障害や自閉症など、障害のある子へのリハビリテーションの一つだ。

人間には、視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚という五感以外にも、さまざまな感覚器官が存在する。耳の奥にある三半規管で感じる「前庭覚」は、バランスを取るための感覚。椅子の上で姿勢を保つ、人にぶつかっても転ばずに立て直す、といった動作を可能にする。人間の発達の土台には感覚があり、複数の感覚を整理し、まとめる力が身につくことで、話す能力や情緒の安定にもつながる＝図＝。感覚統合療法は、個々の子どものニーズに基づき、発達のつまずいた感覚に働きかける。道内でも複数の医療機関や障害児施設で導入されている。札幌医科大学教授で作業療法が専門の仙石泰仁さん(59)は「確実に子どもの発達を促すとは言えず、今後の研究が必要だが、大きな効果をもたらす可能性はある」と指摘する……



今年一年の皆さんに乾杯！